

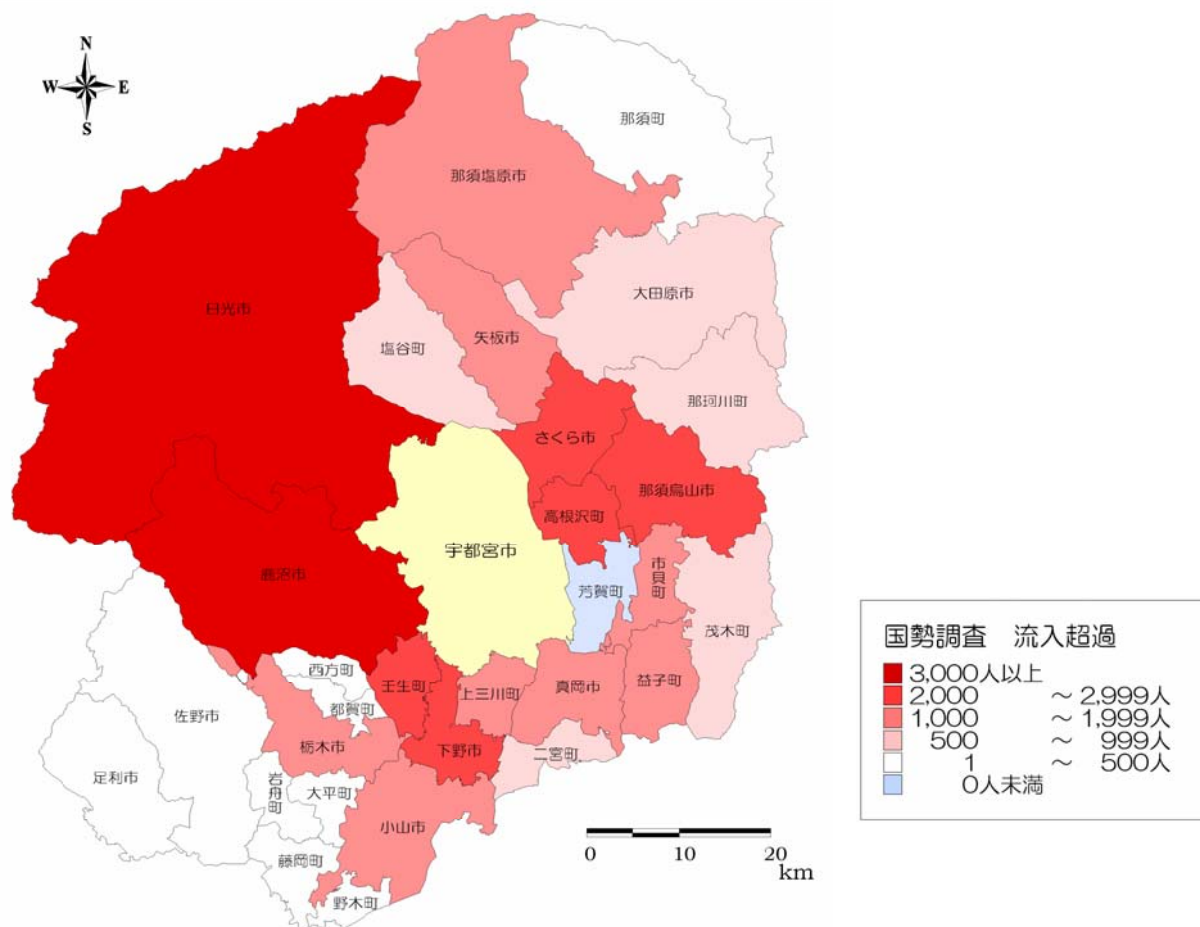
## 5. 流入超過・流出超過

(1) 平成 17 年調査について

県内 30 市町中、29 市町は流入超過。流出超過は**芳賀町**。

宇都宮市外への通勤・通学者数（市内居住者）から宇都宮市内への通勤・通学者数（市外居住者）を差し引いて流出超過となった県内市町は芳賀町（6,047 人流出超過）のみとなっている。

流入超過 2000 人以上の県内市町は日光市の 3,717 人を最高に 7 市町となっている。



流入超過数(栃木県内 市町別)

流入超過3,000人超		流入超過2000以上～2,999人		流入超過1000以上～1,999人		流入超過500～,999人		流入超過1～499人	
日光市	3,717	さくら市	2,849	那須塩原市	1,584	塩谷町	840	都賀町	423
鹿沼市	3,070	下野市	2,833	益子町	1,438	茂木町	766	大平町	397
		高根沢町	2,709	矢板市	1,226	大田原市	628	野木町	368
		壬生町	2,421	小山市	1,173	二宮町	539	佐野市	352
		那須烏山市	2,135	真岡市	1,122	那珂川町	526	西方町	199
				上三川町	1,084			那須町	195
				市貝町	1,044			岩舟町	186
				栃木市	1,032			足利市	160
								藤岡町	136

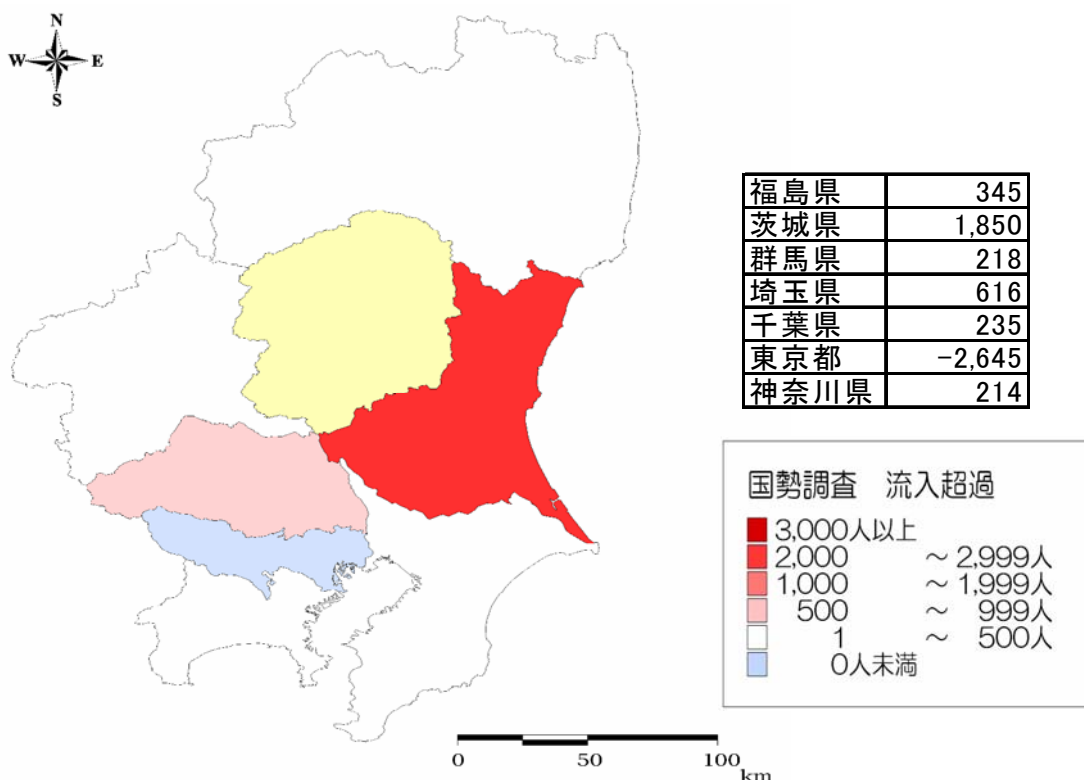
  

流出超過	
芳賀町	△ 6,047

関東 1 都 5 県及び福島県で流出超過は**東京都**のみ

栃木県外への通勤通学者数（市内居住者）から宇都宮市内への通勤通学者（栃木県外居住者）を差し引いて流出超過となった都県は東京都（2,645 人流出超過）のみとなっている。

その他 6 県は茨城県の 1,850 人を最高に流入超過となっている。



## (2) 昭和 55 年調査以降の動向

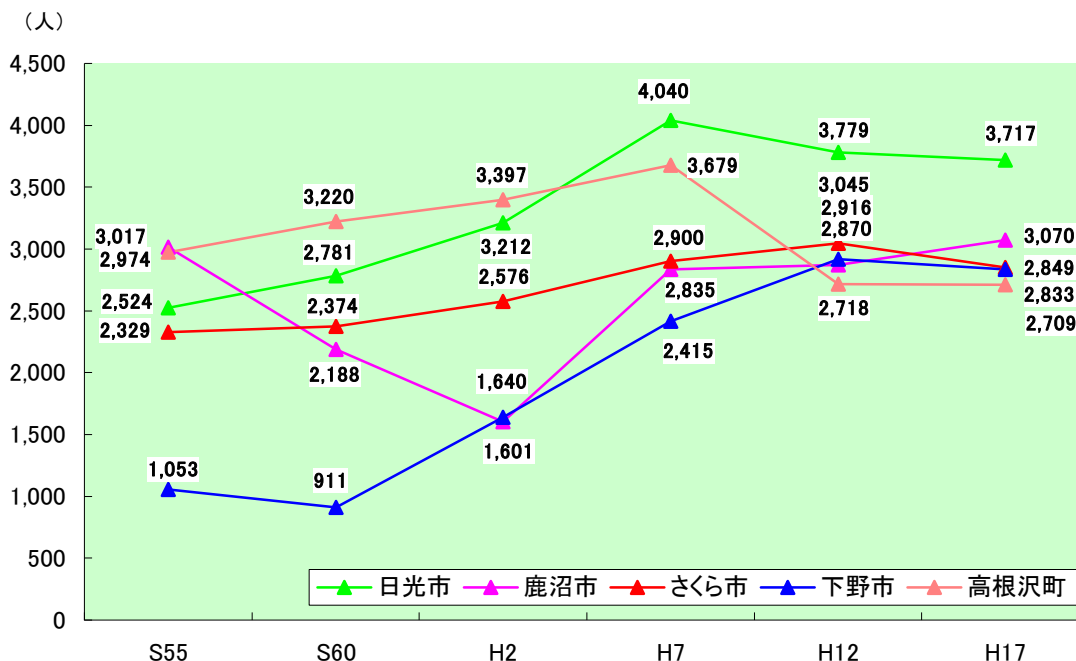
流入超過は県内市町別では**日光市**が 3 調査連続で 1 位

平成 17 年調査における流入超過数の県内上位 5 市町の推移をみていくと、日光市が平成 7 年から 3 調査連続で 1 位となっている。第 2 位の鹿沼市は昭和 60 年調査・平成 2 年調査と大きく減少し、1,601 人となったが平成 7 年調査から 3 調査連続で増加し、3,070 人の流入超過となっている。第 5 位の高根沢町は平成 7 年調査を最高（3,679 人）に流入超過数が大きく減少しており、平成 17 年調査で 2,709 人の流入超過となっている。

平成17年調査・流入超過-県内上位5市町推移

市町名	S55	県内 順位	S60	県内 順位	H2	県内 順位	H7	県内 順位	H12	県内 順位	H17	県内 順位
日光市	2,524	3	2,781	2	3,212	2	4,040	1	3,779	1	3,717	1
鹿沼市	3,017	1	2,188	4	1,601	7	2,835	4	2,870	4	3,070	2
さくら市	2,329	4	2,374	3	2,576	4	2,900	3	3,045	2	2,849	3
下野市	1,053	8	911	10	1,640	6	2,415	6	2,916	3	2,833	4
高根沢町	2,974	2	3,220	1	3,397	1	3,679	2	2,718	6	2,709	5

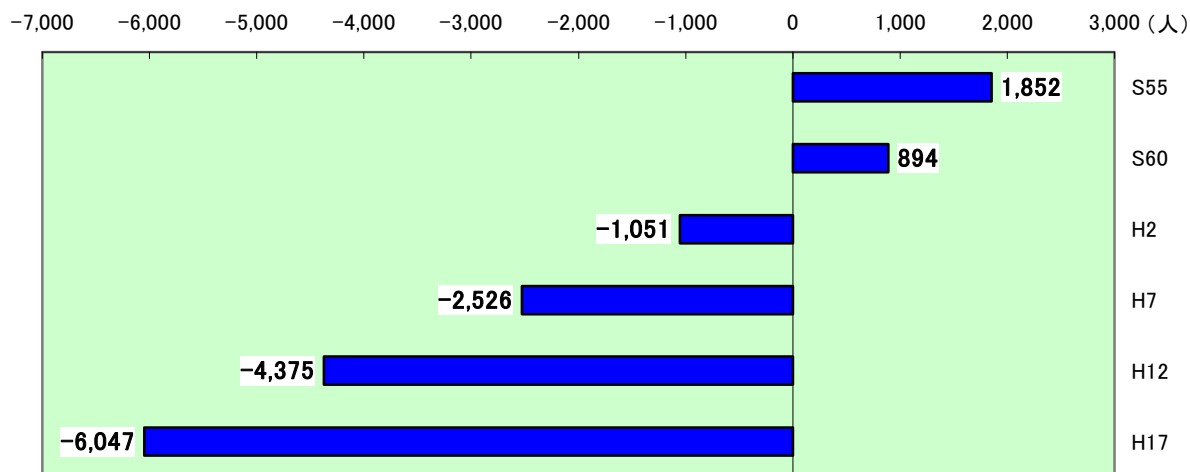
流入・流出超過推移(平成17年調査・県内上位5市町)



流出超過が拡大する芳賀町

平成17年調査において栃木県内市町で唯一の流出超過の芳賀町の推移をみていくと、昭和60年調査までは流入超過となっていたが、平成2年調査で流出超過に転じて以降、流出超過数が急激に増加している。

流入・流出超過推移(芳賀町)

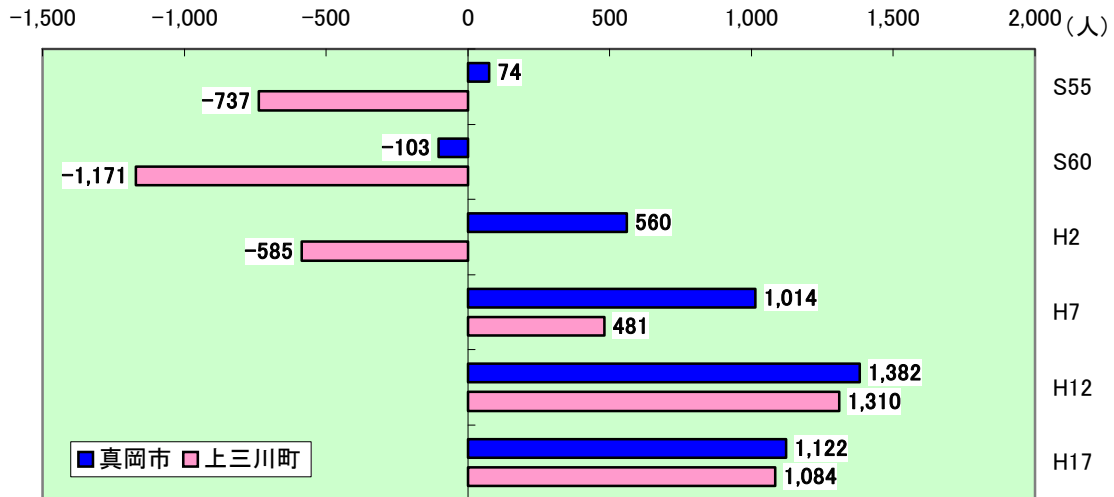


流出超過から流入超過に転じた**真岡市・上三川町**

2市町は昭和60年調査で流出超過となっていたが、真岡市は平成2年調査、上三川町は平成7年調査で流入超過に転じ、平成17年調査では1,000人を超える流入超過となっている。

市町名	S55	県内 順位	S60	県内 順位	H2	県内 順位	H7	県内 順位	H12	県内 順位	H17	県内 順位
真岡市	74	28	-103	29	560	17	1,014	13	1,382	9	1,122	12
上三川町	-737	30	-1,171	30	-585	29	481	19	1,310	11	1,084	13

流出・流入超過推移(真岡市・上三川町)



- ・流入超過数1位は**茨城県**
- ・流出超過は**東京都のみ**に

流出・流入超過の昭和55年以降の推移を都道府県別にみていくと、流入超過数は茨城県が第1位となっており、平成17年調査では1,850人の流入超過となっている。  
一方、流出超過の都道府県は東京都のみで、平成17年調査で2,645人の流出超過となっている。直近3調査では、2,500~2,600人前後の流出超過で推移している。

流出・流入超過推移(1都6県)

都道府県名	S55	S60	H2	H7	H12	H17
福島県	75	156	240	273	207	345
茨城県	740	843	1,431	1,845	1,693	1,850
群馬県	98	57	92	225	226	218
埼玉県	31	62	242	427	585	616
千葉県	24	73	90	152	194	235
東京都	-1,510	-1,538	-2,028	-2,693	-2,544	-2,645
神奈川県	-12	9	48	103	232	214

(人) 流入・流出超過推移(茨城県・埼玉県・東京都)

